

日時:令和3年1月24日(日) 13:00~16:00 (休憩を含む)

場所:オンライン(Zoom)開催

講師:小田桐 早苗 先生

(川崎医療福祉大学 医療福祉学部医療福祉学科 講師)

川崎医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 修士課程修了後、同大学教員として着任。
2013年にノースカロライナ大学 TEACCH 部にてインターン研修を受けられ、現在は、思春期の ASD の方々のソーシャルグループ活動や、女性の ASD の方々へのサポート、自己理解のセッション、きょうだいへのサポートなどについても取り組んでおられます。



「思春期へ向けた子どもとの関わり」 ～お母さんと振り返るときのアプローチについて～

自閉症の特性を持つ場合、たとえ高機能であっても周りの暗黙のルールが分からなくて孤立したり、自分の気持ちを上手に表現できなくて誤解されたり・・・それが原因でいじめや不登校に陥ったりすることがありますね。

家庭や学校で、どうすればお互いの思いを伝え合うコミュニケーションがとれるのか、今回の小田桐先生のお話をきいて、みんなで学びあいたいと思います。

知的障害のない ASD のお子さんとの家庭での日々の振り返りについて、一緒に考えてみたいと思います。

先生からのメッセージ

日々の出来事をお子さんと振り返り、意味を考える時に大切にしたい視点についてお話させていただければと思っています。

お子さんの成長につれ、周囲に対する気づき、自分自身のことへの意識も芽生えてきます。日ごろから、お子さんとのやりとりを続けていることが、学校などでの本人の「よくわからない」や「どうしたらいいの」といった相談も表出されやすくなるように思います。

そんな日常的な本人とのやりとりを、ASD の本人の特性に合わせたアプローチを基に考えたいと思います。

事例なども交えながら、Web 上ではありますが、皆さんと一緒にやってみたいと思っています。是非、楽しみながらご参加いただければと思います。

主催 NPO法人岡山県自閉症児を育てる会
〒709-0826 岡山県赤磐市和田 194-1
Tel.:086-955-6758 Fax.:086-955-6748
メール:acz60070@syd.odn.ne.jp



後援:岡山県教育委員会・岡山市教育委員会・赤磐市教育委員会・倉敷市教育委員会・山陽新聞社